

第20回兵庫県防衛懇話会を開催



- ① 第20回防衛懇話会、第50回定期総会開催
- ② 各支部総会等開催、防衛協会の活動
- ③ 退職自衛官の就職支援について、研修案内
- ④ 兵庫地方協力本部たより

発行 兵庫県防衛協会 078-261-9780
印刷 コベルコビジネスサポート ㈱



兵庫県防衛協会は6月3日(金)、兵庫県自衛隊父兄会、兵庫県隊友会と共催し、自衛隊兵庫地方協力本部の支援を受け湊川神社楠公会館(神戸市中央区)において「第20回兵庫県防衛懇話会」を開催した。本年度の記念講演は講師に国際的政治学者として活躍中の同志社大学法学部教授の村田晃嗣氏を招き実施された。

講師の村田氏は、兵庫県神戸市出身で、同志社大学、神戸大学大学院、米国ジョージ・ワシントン大学で政治学などを学び、広島大学で助教、同志社大学で教授を歴任し、2013年から2016年までは同志社大学学長に就任し、アメリカ外交、安全保障政策に関する研究を専攻し、新聞紙上へのコラム執筆や、テレビ番組での論評にも多く出演し、積極的な発言を行っている。今回は、その豊富な活動経緯から、「日本の安全保障と日米関係」を演題とした講演であった。

また、自衛隊からは中部方面隊幕僚長、第3師団副師団長、阪神基地隊司令、自衛隊兵庫地方協力本部長、第36普通科連隊長等、兵庫県下に所在する自衛隊の部隊長等の参加をもらい、終始盛大に行われた。

引き続き、顧問の井戸知事からは「この懇話会は阪神淡路大震災の翌年に自衛隊への更なる協力が必要として始まり、現在、更なる協力関係を築くために重要な位置づけの行事となっている。」などの懇話会についての必要性を語られた。当協会も会員約90名が懇話会に参加し懇親を深めた。

その後、定期総会を開催し約80名が参加した。平成27年度事業報告及び収支決算報告、平成28年度事業計画及び予算案を審議するとともに、役員等人事について、常任理事、理事、事務局長の就任が承認され、各議案はすべて満場一致で可決された。その後、自衛隊からの感謝状、全国防衛協会連合会長表彰等状況説明が行われた。

最後に、中林常任理事が退職自衛官の再就職に関する説明を「退職自衛官の就職支援についての役員人事
平成28年度新しく就任した役員は次のとおり
【青年部会長】
丹波焼かねと窯 代表 清水 圭一
【運営委員】
株式会社みなと銀行 頭取 服部 博明
【理事】
一般社団法人神戸青年会議所 副理事長 橋本 耕治
辰馬本家酒造株式会社 会長 辰馬 清
ミツ精機株式会社 代表取締役社長 三津 千久磨

め約270人が聴講し、広く防衛思想を深める場となり、一時間の講演時間にはあつという間に過ぎた。

記念講演に続く懇親会では、防衛懇話会20回目を迎える記念の年でもあり、当協会の顧問でもある兵庫県知事(井戸敏三氏)の出席を頂いたほか、兵庫県選出国会議員をはじめ、兵庫県議会議員及び神戸市会議員の各議員等多くの来賓が参加した。

の協力と防衛思想の普及に努めていかなければならない。」と述べ、出席者に協会活動の活性化へ更なる協力を呼びかけた。

兵庫県防衛協会は6月3日(金)、湊川神社楠公会館において、平成28年度定期総会を開催した。今回の総会は兵庫県防衛協会が昭和41年に創設されて50年を迎え定期総会としても50回目を数える。

「3面に関連記事」
お願いと題して説明し、自衛官の再就職受け入れへの理解と協力を求めた。

「日本の安全保障と日米関係」

同志社大学法学部教授 博士 村田 晃嗣 氏

「日本の安全保障と日米関係」を演題とした講演では、村田先生は、自衛隊の存在意義や、日米関係の重要性を説き及ぼされた。また、自衛隊の役割や、日米関係の重要性を説き及ぼされた。また、自衛隊の役割や、日米関係の重要性を説き及ぼされた。



第20回懇話会の祝辞の井戸知事



懇親会で主催者代表挨拶の大橋会長



会員約80名が参加して定期総会を開催

兵庫県防衛協会発足から50年 第50回定期総会開催

各支部総会等を開催

【東播支部】

東播支部は、7月13日に明石市内において役員会を開催した。

平成27年度事業・収支報告及び平成28年度事業計画・予算案を審議し28年度の方向性を決定させた。役員人事については、現役員が引き続き就任することが承認された。

【尼崎支部】

尼崎支部は、7月11日に尼崎商工会議所内において定期総会を開催した。

平成27年度事業・収支報告及び平成28年度事業計画・予算案を審議した。総会終了後には、第36普通科連隊副連隊長・神崎2佐による演題「自衛隊と災害派遣活動(活躍する理由)」の講演を聴講、その後懇親会を行い尼崎支部会員と第36普通科連

隊の隊員と自衛隊兵庫地方協力本部員との意見交換が行われる場となった。



神崎副連隊長の講演

【青年部会】

青年部会は、4月16日にホテル北野プラザ六甲荘において第8回定期総会を開催した。

総会に先立ち、4月14日及び16日に発生した熊本地震で亡くなられた方々に対して黙祷がなされ哀悼の意を表した。総会では平成27年度活動報告及び平成28年度活動予定案を審議し、満場一致で承認された。

その後、役員の変更が行われ、21名の役員が紹介され、小島成介会長から清水圭一新会長へバトンが手渡された。清水新会長は就任の挨拶において「大東亜戦争

が終結して70年が経ち、今私たちは当たり前の様に平和で豊かな日常を謳歌しています。しかし、その裏側では、海上、航空域における国境周辺で他国との厳しいせめぎ合いがあり、その頻度は年々増すばかりであると聞きます。また、先の法改正で国際社会の中で自衛隊に課せられる役割はますます大きく多様になって行く事になります。

その中で、私たち国民がやらなければならない事は自衛隊を理解し、出来る限りの支援をしていく事だと思えます。兵庫県防衛協会では、自衛隊の諸行事への参加並びに研修会や勉強会の開催等を通じて自衛隊の理解と、国防に対する意識の高揚と啓発を行ってまいります。』と力強く語り、新たな体制がスタートした。

委員会は運営委員、各支部長など12名が参加して行われ、平成27年度事業報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算案、役員人事などを審議した。

自衛隊兵庫地方協力本部の副本部長、援護課長、渉外広報室長と意見交換の場として会食を行い今後の協力関係について対話の場となった。

15日には、本会の総会が行われ、小林常任理事が参加しました。総会に先立ち、協会活動に功績があった会員への表彰が行われ、兵庫からは小島氏が青年部会会長時の活動が認められ副会長から表彰された。表彰式終了後に総会及び懇親会が行われ終始和んだ中で時間は経過した。

清水新会長は就任の挨拶において「大東亜戦争

【運営委員会開催】

4月14日(木)神戸防災合同庁舎において、定期総会の議題について審議する運営委員会を開催した。

委員会は運営委員、各支部長など12名が参加して行われ、平成27年度事業報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算案、役員人事などを審議した。

自衛隊兵庫地方協力本部の副本部長、援護課長、渉外広報室長と意見交換の場として会食を行い今後の協力関係について対話の場となった。

15日には、本会の総会が行われ、小林常任理事が参加しました。総会に先立ち、協会活動に功績があった会員への表彰が行われ、兵庫からは小島氏が青年部会会長時の活動が認められ副会長から表彰された。表彰式終了後に総会及び懇親会が行われ終始和んだ中で時間は経過した。

清水新会長は就任の挨拶において「大東亜戦争

【全国防衛協会総会に出席】

6月14日及び15日に全国防衛協会連合会定期総会が開催されました。14日に青年部会の総会が行われ、清水会長、小



運営委員会での議案を審議

島相談役が参加した。総会では各部会が計画する行事等の内容の発表があり、兵庫から清水会長が「南あわじ市には、戦時中に学徒動員され戦没された若者を追悼すること」を目的として若人の広場が整備されており、毎年10月には全国戦没学徒追悼祭が行われており当青年部会としても積極的に参加しております。」などの活動について語った。

15日には、本会の総会が行われ、小林常任理事が参加しました。総会に先立ち、協会活動に功績があった会員への表彰が行われ、兵庫からは小島氏が青年部会会長時の活動が認められ副会長から表彰された。表彰式終了後に総会及び懇親会が行われ終始和んだ中で時間は経過した。

清水新会長は就任の挨拶において「大東亜戦争



全国青年部会で活動発表の清水会長



全国総会に参加の小林常任理事

【護衛艦「いせ」姫路港に入港】

6月21日及び22日にかけて姫路港に護衛艦「いせ」が入港し特別公開、一般公開が行われた。21日は入港した「いせ」の歓迎セレモニーが行われ、当協会からも小林常任理事、青年部会堀田副会長始め5名が出席して入港歓迎行事が盛大に行われた。

歓迎行事終了後、小林常任理事は、他の協力会会長とともに、第4護衛隊群司令への表敬を行い全般の説明と艦内の案内を受けた。

15日には、本会の総会が行われ、小林常任理事が参加しました。総会に先立ち、協会活動に功績があった会員への表彰が行われ、兵庫からは小島氏が青年部会会長時の活動が認められ副会長から表彰された。表彰式終了後に総会及び懇親会が行われ終始和んだ中で時間は経過した。

清水新会長は就任の挨拶において「大東亜戦争

して艦の概要説明後に普段見ることが出来ない護衛艦の見学をおこなっていただき満足が行くものとなった。



「いせ」見学中の青年部会役員

【阪神病院激励】

11日に自衛隊阪神病院へ入院中の隊員に対して激励慰問を行った。本行事は、訓練等で負傷して入院している隊員の早期回復を願って、昭和44年から行っている。今回は、小林常任理事が協会を代表して病院を訪れ、阪神病院長の表敬、病院内施設のご案内をいただき、最後に入院隊員への早期回復を願って見舞い品を手渡して病院を後にした。

清水新会長は就任の挨拶において「大東亜戦争



早期回復を願ってのお見舞い

退職自衛官の就職支援についてのお願ひ(抜粋)

兵庫国防衛協会 常任理事

兵庫国防衛協会におきましては、2月29日(月)神戸防災合同庁舎において、退職自衛官雇用促進部会連絡調整会議を行いました。



雇用促進部会での退職自衛官について説明

平成27年度の兵庫県内の退職自衛官の再就職の状況について確認するとともに、防衛協会として今後どのような協力の要領が望ましいのかを検討いたしました。

昨年度は、兵庫県内に、定年退職者36名・任期満了退職者(20歳超)64名・合計100名の退職自衛官が再就職



平成28年度第1回阪神地区合同企業説明会 参加人員375名 参加企業168社 (6/6(月)グランキューブ大阪)

一方、我々防衛協会関連企業で退職自衛官の全てを雇用することは現実的な話ではないことから、今後は、雇用努力とは別に、我々の人脈を有効に活用して雇用につながるネットワークを広げて、良質な雇用先の確保に協力していきたいと考えております。

割合が42%を占め、多くの退職自衛官が安心して第2の人生をスタートさせていることを確認する事ができました。関係者のご協力に感謝申し上げます。

これにより、現職自衛官が安心して職務に専念できるとともに、入隊者の確保にも好影響を与えると考えております。自衛隊、隊員への直接的な協力や支援もありませんが、このような形で協力や支援もおこなっていきたくと考えております。自衛官に興味を持ち、雇用を検討されている防衛協会会員企業と繋がりのある企業様の情報の提供をお願いいたします。

援護業務は、自衛隊内の援護部門と自衛隊援護協会が本務を担っておりますが、本防衛協会の会則にもその支援を行う旨が明示されております。会員企業様の理解とご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。尚、10月3日(月)には任期制自衛官を対象に第2回阪神地区合同企業説明会を神戸で予定しておりますので、ご参加を宜しくお願い致します。

援護に関するお問い合わせは、自衛隊兵庫地方協力本部援護課 078-261-9779

研修参加者 募集!

応募は兵庫県防衛協会の会員に限ります。



Table with 2 columns: 1日目 (07:30 集合, 17:00 ホテル着), 2日目 (07:30 ホテル発, 19:30 解散)

お申込みは、8月5日(金)まで

- 時期:平成28年8月26日(金)~27日(土)
● 場所:静岡県御殿場市東富士演習場(畑岡地区)
● 参加費用 26,000円(1泊4食、懇親会、バス代、保険等を含む)参加される方には、研修の詳細と振込み先をご連絡いたします。

浜松基地航空祭 エアフェスタin浜松 2016



ブルーインパズ等の展示飛行が予定されています。

Table with 2 columns: 行動予定 (06:30 集合, 11:00 浜松基地着, 15:00 浜松基地発, 20:00 解散)

お申込みは、9月26日(月)まで

- 時期:平成28年10月16日(日)
● 場所:航空自衛隊浜松基地(静岡県浜松市)
● 参加費用 5,000円(バス代等)を当日徴収させていただきます。

申し込みは、お電話でご確認いただいた後、同封のFAX送信用紙に内容をご記入してFAXでお願いいたします。FAXで、お申し込みが出来ない場合はお電話でご相談して下さい。

申し込み先(平日の9時~17時) 自衛隊兵庫地方協力本部 渉外広報室 TEL 078-261-9780 FAX078-261-9781(担当:道岡)

イベント情報は自衛隊兵庫地方協力本部または各駐屯地及び基地等のホームページをご覧ください。(開催予定の一部を下記に掲載しております。)

福知山駐屯地記念行事 10/1, 2
中部方面隊記念行事 10/ 8, 9
姫路駐屯地記念行事 10/30
今津駐屯地記念行事 11/15



徳島航空機地祭 9/25
呉基地 一般公開 各日曜日
舞鶴基地 一般公開 各土、日、祝日
阪神基地隊掃海艇一般公開 各日曜日



(一般公開は予定で詳細は基地にお問い合わせ下さい。)

小松基地航空祭(石川) 9/19
芦屋基地航空祭(福岡) 10/ 9
浜松基地航空祭(静岡) 10/16
岐阜基地航空祭(岐阜) 10/30



桜フェスタで 募集広報

4月2日に伊丹駐屯地で行われた桜フェスタ2016において、自衛官募集ブース開設し自衛隊をアピールした。

当日は晴天に恵まれ駐屯地の桜が満開となり、約7,200人の地域住民が訪れた。広報官らは自衛隊に興味がある若者に各受験種目の説明を分りやすく丁寧に実施していた。訪れた若者は、「災害派遣等で活躍している自衛隊が格好いい」などの声が聞かれた。



募集説明を行う兵庫地本広報官

震災復興フェスティバル で広報活動

5月8日三田市有馬富士公園で開催された「第4回震災復興フェスティバル」に広報ブースを開

設し、小型トラック、携行食及び熊本地震における災害派遣の活動状況の写真、パネル等を展示するとともに、活動内容等について紹介した。

ブースを訪れた来場者は、行方不明者捜索の状況や入浴支援等の活動状況等をパネルで確認する他、阪神淡路大震災時の状況を振り返り、地震に対する恐怖を口にして



災害派遣活動の説明を受ける学生

大規模水害を想定した 水防演習

5月14日、たつの市揖保川河川敷で行われた水防演習に参加した。

演習は、国土交通省近畿地方整備局(主催)をはじめ、兵庫県下の自治体や学校、自衛隊、警察及び消防等など52機関約1000人が参加した大規模なもので、各機関

との連携確認や地元住民の意識の高揚を目的として実施された。

兵庫地本は展示ブースを開設し、熊本地震における災害派遣活動のパネルや人命救助セット及び非常用糧食の展示及び説明を行った。ブースには、訓練に参加した学生など多くの方々に訪れていた。



熊本地震災害を説明する広報官

護衛艦を見学

5月15日、護衛艦

「きりさめ」の特別公開に神戸大学海事科学部の学生と教授を招待した。将来、海運業に携わる学生が多いことから、海上自衛隊を選択肢の一つとして考えてもらうのが目的。大学船との違いを話し、見学は、「これはどういった時に使うのですか?」など、海事科学部ならではの質問をしていた。帰りの車中でも、護

衛艦の話で持ち切りで教授も「学生にはいい刺激になり将来の選択肢が増えたと思う。」と語ってくれた。



艦内の装備について質問する学生

自衛官候補生を激励

5月20日に自衛隊姫

路市父兄会が実施する教育隊徒歩行進訓練の激励行事を支援した。

4月に姫路駐屯地へ入隊した自衛官候補生の徒歩行進訓練に併せて実施しており、父兄会行事として隊員の家族などを招いてご子息の成長した姿を見てもらう機会を設けている。隊員は重い装備に苦しうにしていたが、出迎えるの家族に対しては、苦しい姿を見せず元気に手を振っていた。

になるなんて」などの喜びの声を聞くことができ



行進訓練の隊員を激励する隊員家族

県立高校で防災講話

5月30日に兵庫県立

淡路高等学校でおこなわれた「防災と心のケア」の授業の一環で実施された防災講話を支援した。

自衛隊兵庫地方協力本部渉外広報室長の工藤3佐が淡路高校の2年生11名に対して阪神・淡路大震災及び東日本大震災における教訓等を基に講話した。



広報官による簡易担架の展示

る、簡易担架の作成を演じたほか、生徒達にも実際に簡易担架を作成させたことにより、震災に備えるという意識がさらに深くなったと思われる。講話終了後は受講した生徒からは「震災時にどのような過程を経て自衛隊が災害派遣されるかということはなかなか知ることができないので、非常に勉強になりました。」と語ってくれた。

高校で進路説明会



説明会で自衛隊を説明する広報官

6月3日に尼崎市にある琴ノ浦高校において進路説明会を実施した。会場には自衛隊の他に企業や専門学校なども参加しており、その中で自衛隊のブースには、興味を持っている学生が訪れ「今回の説明で自衛隊に更に興味が増えました。」な

どの声が聞かれ、予定の時間を過ぎても積極的に質問する姿が見られた。この説明会が、学生に自衛隊の魅力を伝える手段として有効であることから今後も高校との連携を図りたいとしている。

自衛官候補生修了式参加

6月26日に福知山駐屯地において行われた自衛官候補生修了式に参加した。式において、東は習志野駐屯地から西は海田市駐屯地までそれぞれの任地が告達され、最後に自候生代表による決意表明がなされた。旅立ちに向けた思いが語られた。参加した家族は、「我が子ながら短い間に立派に成長した気がします。これからの成長が楽しみです。」と話していた。



福知山駐屯地の自衛官候補生修了式